

動物看護学会 第25回大会

2016年7月3日

酪農大学

動物看護師統一認定試験 公的資格への戦略



一般社団法人 全国動物教育協会

動物看護部会

動物看護師国家資格化検討推進協議会

公的資格への戦略

高位平準化

動物看護師養成教育

カリキュラム 質・量

レベル(教育者、教育環境)

動物看護師養成教育 現在の取り組み

☆1☆ コアカリキュラム教育実施すること（2014年度～）

2014年12月から「確認と審査」

☆2☆ コアカリ教育実施を第三者に認められること

… 第三者評価

2015年度 文科省委託事業 「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業

☆3☆ コアカリの精度を向上させること … コアカリ検証と改善

2016年3月より検証と改善開始

☆1☆ コアカリ教育を実施すること

統一認定試験受験希望校
コアカリキュラム実施の確認と審査

2014年12月 発信

2015年3月31日 期日

2015年 …

68校が2015年度試験受験可能校となった

重点確認事項

- I. 学則変更によって正式に「**機構推奨コアカリキュラム**」を導入した教育に移行しているかの確認。
(未提出の場合は学則変更を行う予定時期の確認あるいは受験をしない方針を確認)
- II. 課程・学科別修業年限および生徒数の確認
- III. コアカリ教育実施を**公表**しているかの確認
- IV. **科目名称**が「**機構推奨コアカリキュラム**」に統一されているかの確認。
(不一致の場合)
 - ★ 理由と科目名称読み替え表の提示をもって確認
 - ★ さらに不明な場合はシラバスの提示などで教育内容の一致が確認されれば科目一致と見なす
- V. 必要な単位(**必要時間数**)としてコアカリ表に示されている総単位(総時間数)を満たしているかの確認。
(満たない場合)
 - ★卒業までに修められる教育計画の確認などを予定を確認し、実施後に報告

☆2☆ コアカリ教育実施を第三者に認められること 第三者評価

文科省委託事業 「職業実践専門課程等を通じた
専修学校の質保証・向上の推進」事業

<2015年度 事業内容>

機関別評価を実施

4校で試行（2日間の現地審査）

ISO29990を活用 ※学習サービス交際通用性
専修学校自己点検評価ガイドラインにISO評価項目を加え
111の評価項目

分野別評価項目を検討し草案作成 → 2016年度事業

機関別評価項目 ・ 分野別評価項目

	機関別評価項目数 (ISO)	分野別評価項目数
教育理念・目標	5	
学校運営	18	
教育活動	38	13
学修成果	8	4
学生支援	12	8
教育環境	5	7
学生の受け入れ募集	7	
教育の内部質保証システム	4	6
財務	7	
社会貢献・地域貢献	3	
国際交流	4	

96項目(111)

38項目

分野別評価項目 草案（抜粋）

大項目	評価項目
3 教育活動	資格取得のための指導体制はあるか
	各科目の到達目標を記載したシラバスはあるか
	教職員の能力開発のための研修が行われているか。その効果等に関し、文書として残しているか
	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか
	専任教員は適正に配置されているか
	専任教員の講義・実習負担は妥当であるか
4 学修成果	進級率
5 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(3.1.2c)
	学生相談に関する体制は整備されているか(3.1.2c)
6 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか(3.3.3)
	実習室等の学校施設。設備の利用割当(スケジュール管理)が明確になっているか(3.3.2c)
	動物診療施設との連携あるいはその活用が十分に行われているか
8 教育の内部 質保証システム	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか
	教職員の教育内容やカリキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュールはどのようであるか

2016年度

「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

事業計画

(一財)動物看護師統一認定機構 教育評価委員会と連携し、

☆ 第三者評価の体制構築

☆ 分野別評価項目・評価基準策定

☆ 分野別評価 試行	4校
機関別・分野別評価 試行	6校

☆ 審査員養成

☆3☆ コアカリキュラムの精度を向上させること

コアカリキュラム検証と改善

68受験校よりコアカリ検証委員(有志)

26校 37名

8校 8名 作業メンバー

<コアカリキュラム検証委員会>

第1回 会議 2016年1月21日

第2回 会議 2016年5月29日

第3回 会議 2016年8月23日 予定

カリキュラム検討している「3つの委員会」のイメージ

動物看護師統一認定機構

カリキュラム検討小委員会

石岡克己
(委員長)
古本佳代
小林豊和

山下真理子
(副委員長)
浅井知花
若松あゆみ

カリキュラム委員会

コアカリキュラム検証委員会

全国動物保健看護系大学協会(大学)

全国動物教育協会(専修学校)

(日本獣医生命科学大学 石岡克己先生作成図)

カリキュラムのイメージ

動物看護師の指導者
専門性の高い動物看護師
動物看護の教員・研究者



4年間

独自教科(各大学のカラー)

一般教養、アドバンス、研究教育

認定動物看護師コアカリキュラム

大学カリキュラム

主戦力としての動物看護師



2~3年間

専修学校独自教科

認定動物看護師コアカリキュラム

専修学校カリキュラム

(日本獣医生命科学大学 石岡克己先生作成図)

一般社団法人 全国動物教育協会 平成28年度～「コアカリ検討改善委員会」の流れ

	平成27年(2015)度			平成28年(2016)度												平成29年(2017)度												平成30年(2018)度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
統一認定機構			第1回 小委員会(4 月18日)												2016年度 統一認定試 験																								2017年度 統一認定試 験
大学協会																																							
看護用語																																							
専門学校																																							
コアカリ																																							
看護用語																																							

・1月27日石岡・山下MT
・2月22日 佐々木・石岡・山下・下薮MT

第1回
小委員会(4
月18日)

石岡先生 x
山下MT

第2回 小
委員会

第3回 専修学校
案を基に統一認定機
構案作成し大学に提
示

ハブリック
メント

第4回小委
員会

統一認定機構カリ
キュラム案を理事
会提出・承認

決定・公表

会議

6月11日大
学協会総会
6月6日まで
にリストアッ
プ

統一認定機構案を検討す
ると共に大学案を作成か？

・1月21日
第1回 改
善点ピックアップ

・5月29日 第2回
改善内容について討議

・8月22日
AAV教員研修
進捗共有

第3回:改善
進捗共有

確認:

第4回:専門
学校改善カ
リキュラム

改善カリキュラムで教育開始

各校からの
意見提案に
対する委員
私家提出
・4月18日
・3月17日各
校に発信
意見提案提
出

意見徴収結果を基に改善案作成
作業着手。

専門学校コアカリキュラム改善案作成し、統一認定機構小委員会に提出。これを基にして統一認定機構カリキュラム案を作成

5月20日まで
にリストアッ
プ

コアカリキュラム検証と改善 工程(計画)

2016年1月21日		第1回委員会 検証改善方法の確認
2016年1月27日		大学協会(石岡先生) 協議会(山下) 顔合わせ 方向性確認
2016年2月22日		機構 コアカリ検討委員会 発足前の事前会議
2016年3月17日		コアカリ検証改善提案書 68校に配信
2016年4月18日		機構 コアカリ検討委員会 第1回会議
2016年4月22日		コアカリ検証改善提案 44校から収集
↓		コアカリ検証改善提案の整理
2016年5月29日	改善作業 (各自)	第2回委員会 改善提案を元に改善協議開始
		大学協会に進捗報告(第2回委員会:改善協議内容)
2016年6月11日		大学協会総会(コアカリ改善の方向性を確認する?)
2016年8月23日(予定)	↓	第3回委員会 改善作業(機構提出段階まで完成させ確認する)
		機構 第2回 開催?→(機構案完成へ向かう)
2016年10月末(予定)		第4回委員会 改善(機構案を受けて検討、専門学校案を作成か)
2016年12月目処(予定)		機構で最終案まで調整
	↓	パブリックコメント
		第5回委員会 改善コアカリ理解と専門学校バージョンの整備
2017年4月(目標)		機構理事会で改善コアカリ確定
2018年4月(目標)		改善コアカリキュラム教育開始

予定

		平成28年(2016)度												平成29年(2017)度												平成30年(2018)度											
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
統一認定機構	・1月27日石岡・山下MT ・2月22日 佐々木・石岡・山下・下園MT	第1回 小委員会(4月18日)												2016年度 統一認定機構カリキュラム案を理事会提出予定												2017年度 統一認定試験											
大学協会		6月11日大学協会総会 6月6日までにリストアップ												統一認定試験と共に																							
専門学校	・1月21日 第1回 改善点とツックアップ	協議会案作成し、大学協会に提出後、検討ご指導いただく												確認												第4回 専門学校改善カリキュラム											
コアカリ	・3月17日各格好から校に発信 ・4月17日 各校からの意見提案に対する委員私案提出	各校からの意見提案に対する委員私案提出												カリキュラム改善案作成し、統一認定試験と共に提出。これに基づいてカリキュラム作成												改善カリキュラムで教育開始											
審議用誌		5月20日までにリストアップ												8/23 第3回委員会												予定: 改善カリキュラム内容検討											

予定: 第2回機構小委員会開催

予定: 第3回小委員会

予定: 改善カリキュラムで教育開始

予定: 第2回大学協会委員会

予定: 年内にパブリックコメント公表

協議会案作成し、大学協会に提出後、検討ご指導いただく

8/23 第3回委員会

予定: 第4回委員会

予定: 第5回委員会

予定: 改善カリキュラム内容検討

コアカリ検証・改善 重点検討事項

1) 総時間数 2,400 時間は変更しないが

- ・ 共通コア時間 1,920 時間は適切か。又は適切な時間数は？
- ・ 独自プログラム時間 480 時間は適切か。又は適切な時間数は？
- ・ 実習時間 1,920 時間中 42%は適切か。又は適切な時間数は？

2) 授業科目について

- ・ すべての教科が必要か。
- ・ 統合できる（すべき）教科はあるか。→教科名は何にするか。
- ・ 新設すべき教科があるか。
- ・ 名称変更の必要な教科があるか。
- ・ 教科の時間配分は適切か。適切な時間数は？

5) 授業内容（シラバス）について

- ・ 獣医師視線ではなく動物看護師に必要なシラバスにする必要がある。
- ・ 統一認定試験合格するためのものだけではなく、臨床で即戦力となれる内容。
- ・ 深度をどこまでにするか？
- ・ 畜産学、実験動物に関係する部分をどこまで包括する必要があるか。
- ・ 基礎知識教科のための時間をつくる→算数、生物、物理など
- ・ 臨床場面で必要な部分を強化する→クライアントエジュケーション、コミュニケーションなど
- ・ 教科によっては重複している箇所が多いので統合するべきか

6) 「実務上必要でもコアカリに入れるのは不適切な項目」はどれか？

- ・ 必要なのに不適切というと違和感があるが、例えば「基礎生物学」「PC 技術」などは動物看護師としての専門知識や技術ではなく試験問題としても不適では？
しかし、基礎知識としては必要。

「動物看護師養成モデルコアカリキュラム」が目指す教育目標 (案)

- 1) 伴侶動物、産業動物分野等で獣医療現場に従事できる知識と技術を習得している。
- 2) 人と動物の共通疾病を理解し、人の健康及び公衆衛生に貢献できる。
- 3) 動物の福祉と健康の保持、病気の予防、衛生管理、栄養の指導などを理解し、動物たちが健やかな一生を全うできるよう知識と技術を習得している。
- 4) 動物医療関係者並ならびに飼い主との意思の疎通を良好にし、協働できるようコミュニケーション能力を身に付けている。
- 5) 「動物看護師が行うことができる、とすることが望ましい獣医療行為（平成27年6月日本獣医師会小動物臨床部会小動物臨床委員会認定動物看護師制度ワーキンググループにより提出された*10点）が実践できる動物看護師。

- 1) 「動物看護師が行うことができる、とすることが望ましい獣医療行為（平成27年6月日本獣医師会小動物臨床部会小動物臨床委員会認定動物看護師制度ワーキンググループにより提出された*10点）が実践できる動物看護師。

*獣医療を理解するために獣医師と連携し、良質な動物看護を提供できるためには、動物看護師の果たすべき役割として必要な技術と思われるもの。

1. 問診や診療簿の記載補助
2. 一般の動物看護及び特殊看護（ICUなど）
3. 飼い主に対する病態説明
4. 臨床検査（尿検査、血液検査、血液生化学検査など）
5. 外科領域の器具の取り扱いと滅菌及び動物の術野の消毒処置
6. 動物医療機器を用いた各種検査（心電図、X線撮影など）
7. 採血、採尿などの採材
8. 獣医師の処方に基づく投薬
9. スケーリングなどの歯科処置（抜歯は除く）
10. 麻酔時におけるモニター管理と記録

成長分野等における 中核的専門人材養成の戦略的推進事業 (学び直し教育の開発)

代表校：愛犬美容看護専門学校

一般社団法人 動物看護師統一認定機構 資格認定委員会と連携

学び直し受験対象者

- ① コアカリ履修者で「畜産分野」へ職域を拡大希望者
- ② 動物看護系大学以外の動物関係大学
- ③ 現職で認定動物看護師資格未取得者（旧コアカリ履修者）
- ④ 実験動物関係者
- ⑤ 動物看護系以外の動物系職業養成教育履修者

現職で認定動物看護師資格未取得者 推計

2013年度 社会人受験者数 1,164人

2014年度 社会人受験者数 2,209人

2015年度 社会人受験者数 1,378人

※統一認定試験受験者数(社会人) 合計 4,751人

2011年 協議会(社会人) 1,651人

統一認定試験・協議会 6,402人

2011年時点の動物看護職総数 推定 20,000人

学び直し受験 推定数 計算より14,000人

10% ... 1400人

教科	(平成28年開講) 畜産系	(平成28年開講) 高位平準動物看護概論	(平成28年開講) 動物看護学	(平成29年度開講) 臨床動物看護学	(平成29年度開講) 動物疾病看護学	成28年開講) クライアントエジューション(平成28年開講)	院内コミュニケーション(平成28年開講)	(平成29年度開講) 畜産系	
時間数	15	45	15	15	90	6	6	15	
対面学習	15	30	12	12	60	6	6	15	
自律学習(eラーニング等)		15	3	3	30				
1講座の時間	5	3	3	3	3	3	3	5	
開催回数	3	10	4	4	20	2	2	3	
開催地	札幌 宮崎	札幌 大阪 東京	札幌 大阪 東京	札幌 大阪 東京	札幌 大阪 東京	札幌 大阪 東京	札幌 大阪 東京	札幌 宮崎	対象者別 授業総時間 (1/3を自律学習時間)
講師の所属	中央畜産会、協力 関連機関	開催地の専門学校、 協力関連機関	開催地の専門学校、 協力関連機関	開催地の専門学校、 協力関連機関	開催地の専門学校、 協力関連機関	開催地の専門学校、 協力関連機関	開催地の専門学校、 協力関連機関	中央畜産会、協力 関連機関	
対象者									
①	○							○	15
②			○						15(3)
③		○	○						60(18)
④			○	○	○	○	○		132(36)
⑤		○	○	○	○				165(51)

成長分野等における 中核的専門人材養成の戦略的推進事業 (学び直し教育の開発)

代表校：愛犬美容看護専門学校

一般社団法人 動物看護師統一認定機構 資格認定委員会と連携

学び直し受験対象者

- ① コアカリ履修者で「畜産分野」へ職域を拡大希望者
- ② 動物看護系大学以外の動物関係大学
- ③ 現職で認定動物看護師資格未取得者（旧コアカリ履修者）
- ④ 実験動物関係者
- ⑤ 動物看護系以外の動物系職業養成教育履修者

動物看護学会 第25回大会

2016年7月3日

酪農大学

動物看護師統一認定試験 国家資格への取り組み



一般社団法人 全国動物教育協会

動物看護部会

動物看護師国家資格化検討推進協議会

ご清聴
有難うございました

zendoukyou@iac.ac.jp

(一社) 全国動物教育協会